

# 広島市 <sup>ふくだ ひろし</sup> 福田 寛氏所蔵資料 仮目録

## 広島県立文書館

平成 30 年 (2018) 3 月

### 凡 例

- 1 本目録には、広島市 福田 寛氏収集文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は次のとおり。

**請求記号** 本文書群の群番号は (200605) と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1 → 200605/1

**表 題** 資料に原表題のあるものはそのまま採り、内容等で補記すべきものがあれば ( ) で補った。

**年 代** 資料に記された作成年月日を探った。

**作 成** 資料の作成者を記した。資料に授受関係のあるものは→で結んで表記した。多人数にわたるものは適宜「外○名」と略記した。作成者の下に印があるものはⓂと表記した。

**形 態** 資料の形態を記した。

**数 量** 資料の点数を記した。

**備 考** 資料の状態等、特に留意すべき点があれば適宜記した。

- 3 文書の配列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に記した。

## 【文書群概要】

# 広島市 <sup>ふくだ ひろし</sup> 福田 寛氏収集文書（請求記号 200605）

福田寛氏が収集した、浄土真宗大谷派・明信院の敷地購入に関する文書など。

出 所 未詳

出所地名 未詳

分 量 3点（3通）

収蔵までの経緯 昭和 60 年（1885）ごろ、福田氏が古文書専門の古書店から購入し、平成 18 年 8 月に県立文書館へ寄贈した。

年 代 元禄 13 年（1700）～嘉永 7 年（1854）

歴 史 福田寛氏は大正 12 年（1923）広島県生まれ、昭和 23 年（1948）に東京大学経済学部を卒業して広島銀行に入行。昭和 39 年（1964）から三川町支店長を皮切りに、福岡、名古屋等の支店長、取締役、参与を歴任して広島経済の発展に寄与した。文学への関心が高く、芸備の文人（多賀庵風律・浅野長勳・沢三石・坂井虎山・木原適処・門田朴斎・菅茶山・頼春水・岡岷山・北条霞亭など）の書画、近世の諸版本や浮世絵等、多種多様な貴重本、陶磁器、塗物を長年に渡って蒐集した。これらのほとんどは広島大学図書館へ寄贈され、「福田コレクション」として保存されている。

内 容 1 通は、浄土真宗大谷派の「広島御坊」が手狭なため、隣地の購入費用 50 貫目を京都の東本願寺に頼るに当たり、輪番寺の常念寺らが東本願寺へ提出した証文。その他は、岡崎藩と尾張藩の寺院関係の文書である。

参考資料 『広島大学図書館メールマガジン』No. 2（2007 年 4 月 5 日号）

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

（2015.4.23 記述／西村 晃）

（2018.2.6 改定／西村 晃）

---

200605／1			
一札(芸州広島御坊隣地御買添入用銀三拾貫目御下ケ二付一札)	文政 5.10.	芸州広島御坊輪番常念寺㊦・同行惣代糸屋惣兵衛㊦・同升花屋吉右衛門㊦→(東本願寺)御納戸方衆中	豎紙・1通
-----			
200605／2			
覚(鉄性院殿[水野忠善]より下され候額田郡能見町寺領二付証文)	元禄13.10.14	三州額田郡能見町源空寺㊦→松野尾左次兵衛殿外1名	豎切紙・1通
-----			
200605／3			
奉差上置書付之事(尾州津島善福寺外へ式拾両御買下ケ二付書付)	嘉永 7. 5.	(御殿上納)極印所→御納戸方	豎切紙・1通
-----			